

# 微粒子濾過フィルターの設置してある機械を導入して

両国東口クリニック

深瀬 征樹 宮城 知徳 松山 良信 西連地 康  
諸見里 仁 大山 恵子 大山 博司

# 目的

当院は開院以来、透析液エンドトキシン(以下ET)生菌数は日本臨床工学技士会の基準をほぼ満たしてきたが微粒子濾過フィルターは未設置である。

この度、微粒子濾過フィルターが設置してある機械を導入する事になったので微粒子濾過フィルターの有無による透析液ET, 生菌数及び貧血データを比較する事とした。

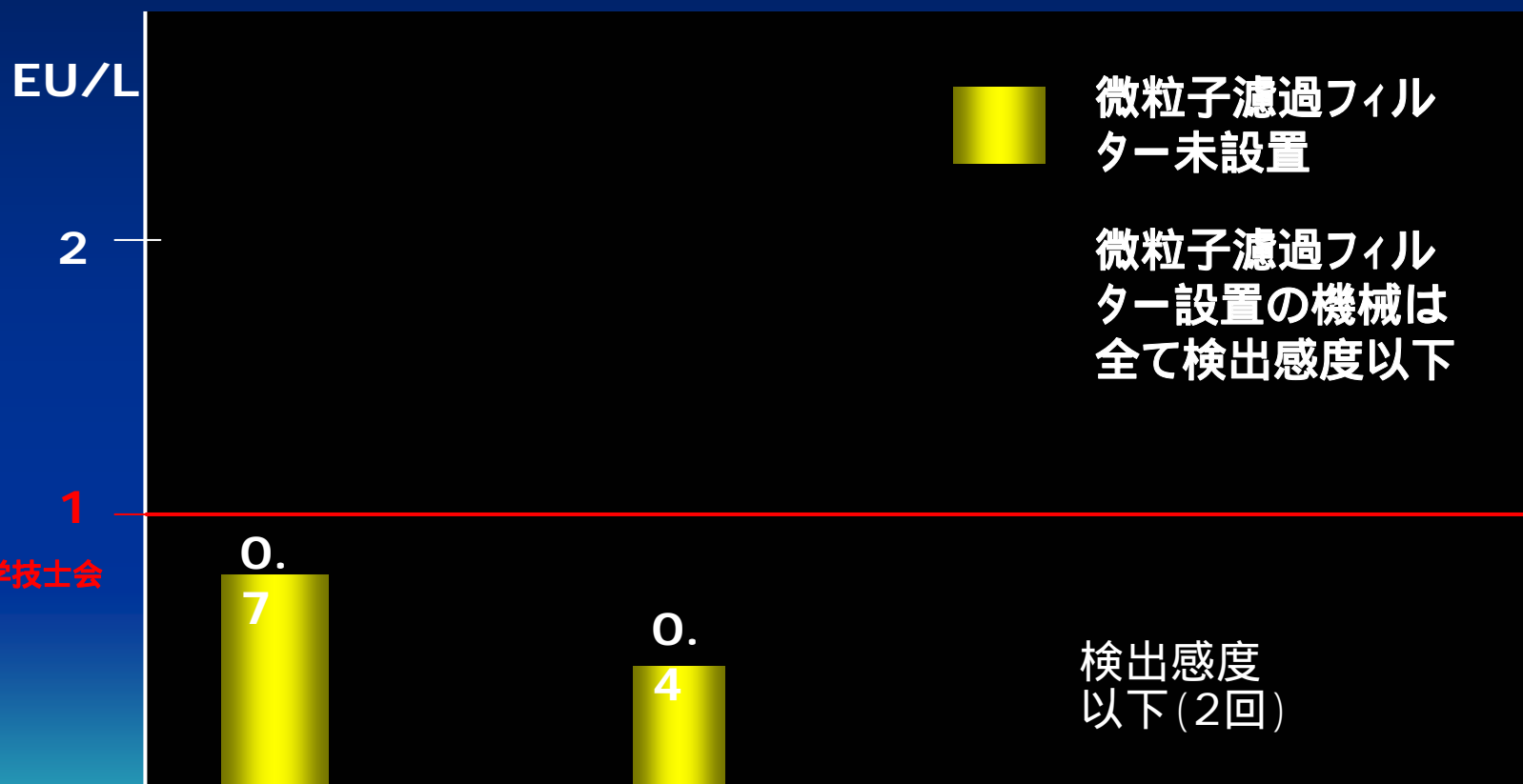
# 方法

- 1 微粒子濾過フィルターの設置してある機械と隣り合った機械から透析液を採取しET, 生菌数を測定(1年に4回)
- 2 微粒子濾過フィルター設置の有無両方の機械で治療を行った同一患者の貧血データを  
確認

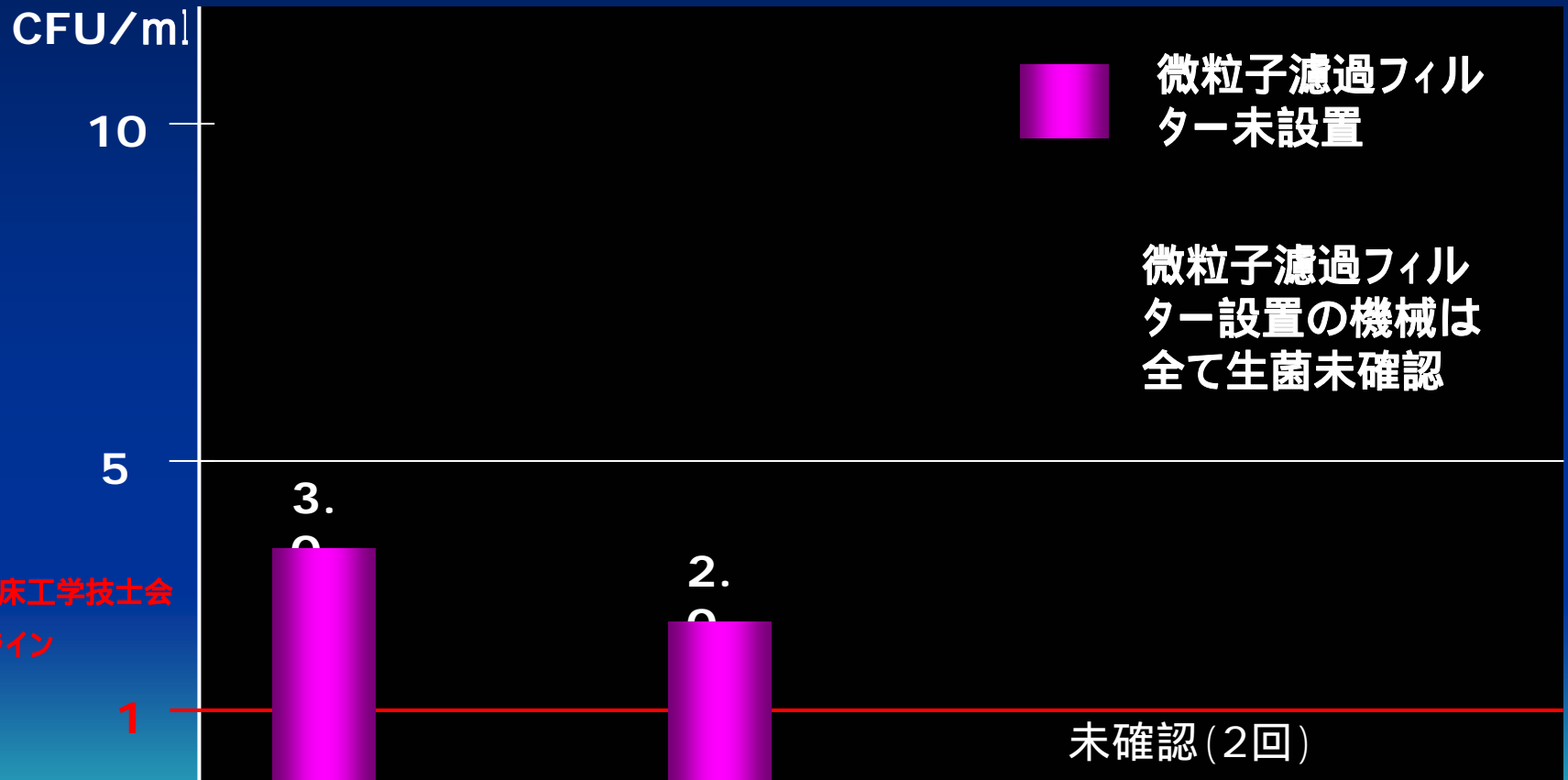
# 当院紹介

- 平成13年12月開院
- ベット数23床 透析装置23台(全て多人数用)
- 月・水・金 3クール 火・木・土 2クール
- 消毒方法 次亜塩素酸ナトリウム400ppm  
シングルパス方式  
週1回酢酸洗浄

# エンドトキシン測定結果



# 生菌数測定結果

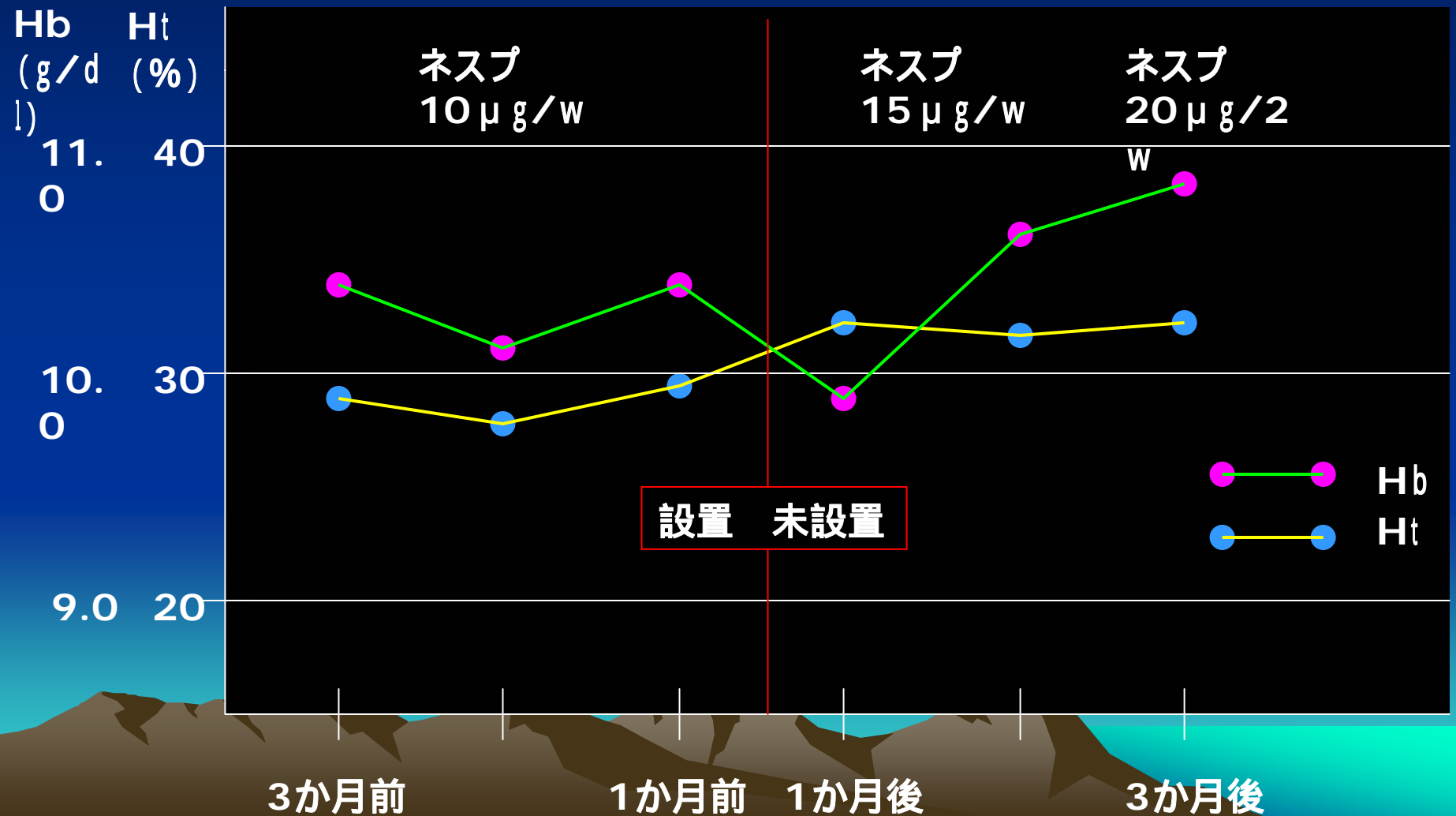


2007  
年

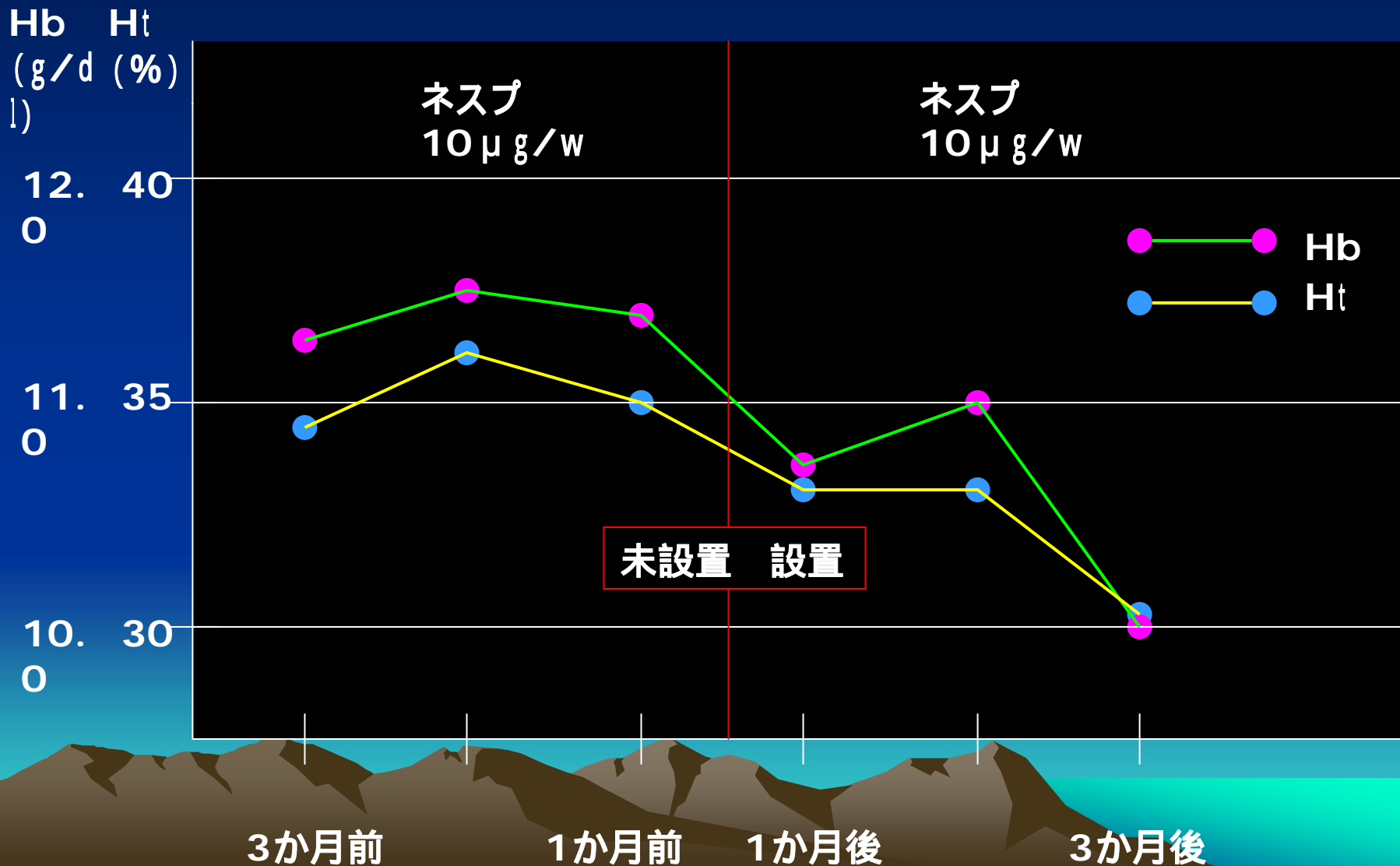
2008  
年

2009  
年

# 機械の変更に伴う貧血データ1



# 機械の変更に伴う貧血データ2





# まとめ

- 透析液清浄化が貧血の改善に繋がるという報告がなされている。当院においては微粒子濾過フィルター未設置の機械でも透析液清浄化はほぼ保たれている為か微粒子濾過フィルター設置の有無が患者の貧血データに与える影響は今回確認できなかった。